

## 技術審査証明 16

### 技術名称 くさび型アンカー工法

審査証明取得日：平成 19 年 5 月 16 日 審査証明取得会社：(株) 日西テクノプラン

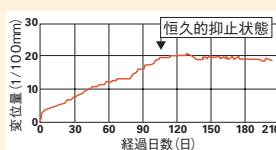
技術の詳細に関する URL：<http://www.ntp-ct.co.jp/kusabi/>

### 技術の特徴・概要

くさび型アンカーは、アンカー体拘束具にくさび機能を持たすことで、拘束度の高いアンカー体側方地盤の支圧強度を利用できるようにした最新の定着システムです**写真-2**。

すなわち、拘束具の引き抜き変位にとまなない、くさび力(圧縮力)が周辺地盤へ伝わり、一方で拘束地盤の反力もこれに呼応して高まるため、アンカー体の変位はおのずと抑制されるというものです。

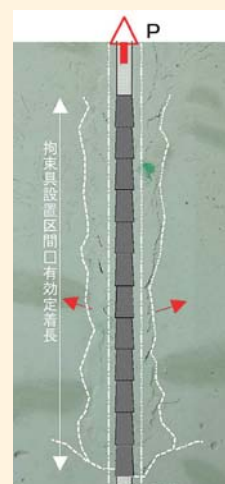
**図-1**、**写真-1**はアンカー体の長期耐久性を観測中(アンカー孔径1cm、定着長15cm、荷重32.8kgf)のものであり、くさび型アンカーでは観測開始100日程度で変位が収まり、恒久的抑止状態に達したようすがわかります。



**図-1**  
アンカー体引き抜け変位状況  
(荷重載荷より7ヶ月経過時点)



**写真-1**  
各種アンカー体  
耐久性試験観測状況



**写真-2**  
アンカー体荷重分散状況  
(拘束具によりアンカー力Pが側方地盤へほぼ均等に分散している)

### 現地での施工状態や技術が活用されている図・写真・コメント等



松江第五大橋道路南側側道法面工事  
(基本調査試験立会：松江国道工事事務所)



300W型拘束具荷姿  
(島根県松江市佐田本郷地区崩壊対策：設計荷重130kN/本)

### 実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題について

設計荷重が大きくなるほど拘束具が重くなるため、軽量化等の工夫が課題となっています。

### 技術のアピールポイント、得意とする現場条件や施工法と比較して有利な点など

耐久性に優れており、特に持続的外力が作用しやすい道路法面等での地すべり・崩壊対策に適しています。